

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・6月より24時間営業になるため、夜間の売上増加を見込んでいる。
		旅行代理店（店長）	・夏に向けての国内旅行の予約は間際化が進んでいるため、今後期待が持てる。また、海外旅行は現時点で大きく上回っていることから、先行きに期待できる。
		旅行代理店（営業担当）	・大企業の業績好調により、人の往来が活発化している。今後は、単価下落の続いていた旅行単価でも上昇局面となることが期待される。
		通信会社（社員）	・インターネットの利用におけるブロードバンドへの需要はかなり落ち着いてきている様子だが、初心者などのユーザーに対しては、ケーブルテレビによる取り込みが可能であると思われることから、先行きに期待が持たれる。
		その他レジャー施設 [球場]（企画担当）	・現時点では在阪球団の成績低迷もあり観客数が伸び悩んでいるが、今後調子を取り戻し観客数の増加が期待されることや、コンサートが何日か予定されていることから、観客の増加が見込まれる。
		その他住宅 [展示場] （従業員）	・来場者アンケートの建築計画の項目で、1年以内に家を建てたいという実数が増加している。30代前半の団塊ジュニアが多いが、一次取得者層の住宅取得意欲向上が数字に表れていることから、先行きの見通しは明るい。
やや良くなる		一般小売店 [酒]（経営者）	・オープン記念フェアの反応も良く、6月には新聞に特集記事として当店が掲載されるので、その効果に期待している。
		一般小売店 [衣服] （経営者）	・近くに大型マンションが建ち、客が増えてきているので、今後は売上が増加すると期待している。
		百貨店（売場主任）	・難波地区周辺の開発が活発で、来年には多くの高層マンションが竣工を迎えるなど、空洞化に歯止めがかかりつつある。また、大手百貨店や家電量販店の出店などで、地域全体での客の囲い込みが可能になることから、今後の上昇傾向が期待できる。
		百貨店（企画担当）	・中元商戦、夏のクリアランスについては必ずしも楽観できないものの、クリアランスにおいては商材確保を進めていることから、現状からは少なくとも改善する。
		スーパー（経営者）	・昨年は冷夏であったが、今年は夏らしくなるとの予報が出ている。夏物商品や果物類、飲料、デザートなどの消費が一昨年並みに推移すれば、回復が期待できる。
		コンビニ（経営者）	・今年は昨年のような冷夏ではないとの長期予報が出ていることから、ドリンク類やアイスクリーム類の売上が昨年より伸びることが期待される。
		コンビニ（店長）	・麺類や飲料の一部では、売上が前年を上回る商品が増加しつつある。天候に左右される要素は高いものの、売上が急速に低下するとは考えにくい。
		家電量販店（企画担当）	・プロ野球やオリンピックの予選中継などでプラズマテレビへの関心が高まっている。まだ購買には至らないが、今後デジタル関連商品は伸びることが期待される。
		家電量販店（経理担当）	・昨年は冷夏のため、エアコン不振の影響を大きく受けたが、今年は例年並みの暑さが予想されることや、オリンピックイヤーに絡むデジタルAV商品等の需要が期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・購入の注文を受けた車が数多くあるほか、車検整備も好調であることから、先行きに期待が持たれる。
		一般レストラン（スタッフ）	・客の動きも活発になっており、客単価も安定してきているので今後の回復が期待される。
		観光型旅館（経営者）	・現在夏の予約が入りかけているが、特に悪い様子もないので少し期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・8月はオリンピック視聴が増えることで、国内旅行が停滞する不安はあるが、婚礼や宿泊の先行予約が順調にきているほか、宴会も7月ごろを中心に大型研修が受注できていることから、先行きに期待できる。
		都市型ホテル（副総支配人）	・レストランは、大阪駅の工事も始まり来客数が減少している不安要因はあるが、宿泊、宴会の予約状況は前年より上回る見込みである。
		旅行代理店（経営者）	・海外旅行の受付が前年比で200%以上伸びていることから、先行きに期待できる。

	美容室（店長）	・7月にキャンペーン期間が終了するため、その後の反動減が心配されるが、化粧品が売れる時期に当たるので、セット販売の売行きに期待している。
	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・エンドユーザーの購入意欲が強まるとともに、新規住宅供給が増加する見込みのため、不動産市況は活性化することが期待される。
変わらない	一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・食肉については相場が上がったままの状態なので、今後は採算割れになるものも出てくる。また、BSEの危険部位が広がり、輸入禁止がいつまで続くのか分からないことから、今後も厳しい状況が続く。
	百貨店（売場主任）	・明るい兆しはあるものの、順調に伸びていた高額ゾーンも低調な状況になりつつあることから、一進一退の状況が続く。
	百貨店（売場主任）	・ヤング衣料は3月から5月の動きでシーズンの消費傾向が明確になるが、今のところ特に目立った売れ筋素材がなく、秋以降までは今の傾向が続く。
	百貨店（営業担当）	・一昨年のサッカーワールドカップの時には売上が落ちたように、オリンピックによる悪影響は避けられない。
	スーパー（広報担当）	・消費税の総額表示の影響については、客における慣れの問題が大きいと思われるが、当初売手側が考えていた以上に影響が大きいことから、もう少し状況を見極める必要がある。
	コンビニ（経営者）	・競合店の閉店、大手量販店の進出などを6月に控えているが、プラスマイナスが相殺されて、全体としては変わらないと推察される。
	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・堅調なのは直営店のパーゲンセールのみであることから、まだまだ厳しい状況が続く。
	一般レストラン（スタッフ）	・客単価の増加などで既存店売上の前年比が100%を超えており、好調であると考えますが、同業他社の状況は良い状況とはいえないことから、全体としての上向き傾向には期待できない。
	観光型ホテル（経営者）	・先の予約や問い合わせ状況からみても、団体客、個人客ともに料金交渉や価格に対して非常にシビアである。来客数は確保できても、客単価、売上については厳しい状況が続くであろう。
	旅行代理店（広報担当）	・テロやSARSに対する不安は払拭された感があるが、通常の夏季シーズンに比べると、7月の参議院選挙、アテネオリンピックのテレビ観戦などによる、旅行客の減少が危惧される。
	タクシー運転手	・客の増加傾向は今後も微増が期待されるが、まだ客の間にためらいがあるために、大きな好転は期待できない。
	通信会社（経営者）	・携帯電話の大手企業による新商品の投入があるものの、従来商品の後継という位置づけで、特に新しい市場の開拓につながる見込みがない。したがって、通常の買換え需要に重きを置いているという点で例年と変わらない。
	観光名所（経理担当）	・年々施設が古くなり、客を呼び寄せるマグネット効果が弱まってきている。他業種とのタイアップイベント等で経費を削減し、集客効果を高める努力をしているが、前年度維持が精一杯である。
	競輪場（職員）	・本場開催における購買単価について、8月はお盆休みの期間があるが、近年分散化する傾向があるので、5月の大型連休ほどは期待できない。また売上総数については、他場の協力数が5月は30場、8月は3場と少ないので、比例して少なくなると思われる。
住宅販売会社（経営者）	・一般の住宅需要が減少傾向にあるなか、投資不動産については堅調であることから、現状維持であると思われる。	
住宅販売会社（従業員）	・マンション分譲は全体として売行き好調といわれるなかで、物件によっては売行きが好調な物件と不調な物件に二極化している状況であることから、今後在庫調整による価格下落の可能性を含んでいる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・休日も来客数は目立って少ない。近隣の大型店は夕方になると半額処分をしていることなどから、大型店と商店街の差別化がますます進む。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	・今夏はオリンピックの開催があるので、客が買物に出てこないのではと心配される。
	スーパー（経理担当）	・周りに大手企業が進出し、特に土日については客を奪われている状況であることから、先行きの見通しは厳しい。
	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・消費税の総額表示の影響が落ち着くまでは、客の買い控えがしばらく続く。

企業 動向 関連	悪くなる		
	良くなる	金融業（支店長）	・ 建材製造業やホテル業の企業が、今後販売額が増加すると感じていることから、先行きの見通しは明るい。
	やや良くなる	電気機械器具製造業（従業員）	・ オリンピックを前に、薄型テレビやDVDレコーダーなどのAV関連商品の需要が見込まれる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 補修、更新を中心に、具体的な引き合いが増加してきたことから、先行きに期待できる。
		不動産業（経営者）	・ 一部の優良物件については購入者が積極的になっていることから、先行きに期待できる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・ 売上はそれほどでもないが、購読数、チラシの数は確かに増えていることから、先行きに期待できる。
		広告代理店（営業担当）	・ 1年間の予算が昨年を下回っている企業が少なくなっていることから、先行きに期待が持たれる。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・ 海運関係については中国からの需要が多くなり、船の往来が増加し、運賃等も上がっていることから、先行きに期待が持たれる。
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・ オリンピックまでは広告需要は安泰であると予想される。
	変わらない	化学工業（経営者）	・ 問い合わせは徐々に増えてきているものの、大口のものは少なく、受注も安定しなくなっているため、先行きには期待できない。
金属製品製造業（経営者）		・ 鉄鋼に関しては自動車関連の勢いの強さ、中国のおう盛な需要により玉不足が続く。	
金属製品製造業（営業担当）		・ 自動車関連は好調だが、土木建築は相変わらず良くないことから、今の状況が続くと予想される。	
一般機械器具製造業（経営者）		・ 取引先の投資意欲はおう盛だが、先行きに対して大変慎重である様子なので、しばらくは今の状況が続く。	
一般機械器具製造業（従業員）		・ 公共工事が主体なので、公団や地方自治体などの財政状態が良くなるまでは回復が難しい。また、工事の総発注量に対して競合相手が多いので企業の淘汰が進むことから、引き続き厳しい状況が続く。	
電気機械器具製造業（経営者）		・ 多忙であることからロスが増え、コストが上がってきている。また材料の値上がり収益を圧迫することが懸念される。	
電気機械器具製造業（営業担当）		・ 見積照会は増えているが、配電盤業界の価格競争が激しく受注に結び付かないことから、厳しい状況が続く。	
建設業（社員）		・ 勝ち組企業による設備投資は増加傾向であるが、大型案件が少ないことから、大きな回復は期待できない。	
不動産業（営業担当）		・ マンション業者の土地取得意欲は強いが、自社ビルや事務所用地の買主はまだ少ないことから、回復には期待できない。	
コピーサービス業（従業員）		・ 全体的には取引企業による利用は減少傾向にあるが、IT関連企業や製薬各社からの受注が大幅に伸びているため、売上は現状維持の見込みである。	
やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・ 輸入品による影響が、価格のみではなく国内生産量にも及んでいる。この傾向は数か月後も変化がないと予想されるので、先行きの見通しは厳しい。	
	繊維工業（団体職員）	・ 受注に対する引き合いなどがなく、原料価格も高騰気味であることから、先行きは厳しい。	
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・ 企業のニーズが専門分野化し、今まで以上にスキルチェックが厳しくなっているものの、派遣社員を投入する動きが顕著にみられる。また、IT関連ではかなり多くの人数を必要としていることから、先行きに期待が持たれる。
		人材派遣会社（社員）	・ 求人数は徐々に上昇してきているので、求職者とのミスマッチがなければ契約数は伸びる。特に技術系の求人は多く、高スキルの求職者の供給が今後必要である。
		人材派遣会社（社員）	・ 料金の下げ止まり感があり、今後売上高や発注が増加することが予測される。また、大口の案件も多く、先行きに明るさがみえる。
		職業安定所（職員）	・ 求人業種に少し変化がみられる。また製造業の求人の増加も半年以上継続していることから、求人数全体に占める割合は大きくないものの、その影響力に期待できる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ 本学に対する求人数も少し増加傾向である。中には、ここ数年採用を控えてきた企業が採用を再開するケースが少し出てきていることから、先行きに期待が持たれる。

変わらない	職業安定所（職員）	・求人数については増加が続いているものの、伸びは鈍化してきている。また、依然パート、臨時の求人が多いなど不透明な部分があることから、大きな上向きは期待できない。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-